

平成 24 年度事業報告

(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

1) 平成 24 年度助成事業について

(1) 若手美術家の在外研修に対する助成

① 募集 (募集期間、平成 23 年 10 月 3 日～平成 23 年 11 月 14 日)

- ア. 美術系大学、美術館等約 400 施設に周知方を依頼した。
- イ. 文化機関、画廊等約 70 箇所に周知方を依頼した。
- ウ. 新聞、Web 媒体、美術専門誌約 200 社に募集掲載を依頼した。

② 選考・審査

応募は、194 件であった。

- ア. 次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。
 - a. 発想の独創性
 - b. 研修計画の実現性
 - c. 美術界への貢献度
 - d. 財団の助成対象としての適合性
- イ. 平成 24 年 2 月 20 日開催の第 3 回選考委員会における合議によって、18 名の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。
- ウ. 理事長は、同報告にもとづき、平成 24 年 2 月 28 日、助成対象者 18 名を決定し、本人に通知した。(その後辞退 5 名、助成額 3,789 万円)

(2) 美術館職員の調査研究に対する助成

① 募集 (募集期間、平成 23 年 10 月 3 日～平成 23 年 11 月 14 日)

- ア. 美術館、博物館等約 400 施設に周知方を依頼した。
- イ. 文化機関、画廊等約 70 箇所に周知方を依頼した。
- ウ. 新聞、Web 媒体、美術専門誌約 200 社に募集掲載を依頼した。

② 選考・審査

応募は、30 件であった。

- ア. 次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。
 - a. 発想の独創性
 - b. 研修計画の実現性
 - c. 美術界への貢献度
 - d. 美術館充実への貢献度
 - e. 財団の助成対象としての適合性
- イ. 平成 24 年 2 月 20 日開催の第 3 回選考委員会における合議によって、12 件の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。
- ウ. 理事長は、同報告にもとづき、平成 24 年 2 月 28 日、助成対象者 12 件を決定し、本人に通知した。(助成額 2,111 万円)

(3) 美術に関する国際交流助成

① 募集（募集期間、平成 23 年 10 月 3 日～平成 23 年 11 月 14 日）

- ア. 美術館、大学等約 400 施設に周知方を依頼した。
- イ. 文化機関、画廊等 70 箇所に周知方を依頼した。
- ウ. 新聞、Web 媒体、美術専門誌約 200 社に募集掲載を依頼した。

② 選考・審査

応募は、64 件であった。

- ア. 次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。
 - a. 主催者ないし主催団体
 - b. 会議のテーマと実績
 - c. 全体の規模と参加者
 - d. 会議の成果と、その成果の公表方法
- イ. 平成 24 年 2 月 20 日開催の第 3 回選考委員会における合議によって、10 件の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。
- ウ. 理事長は、同報告にもとづき、平成 24 年 2 月 28 日、助成対象者 10 件を決定し、本人に通知した。（助成額 1,652 万円）

(4) 助成対象者に対する贈呈式・懇親会の開催

平成 24 年 3 月 19 日、ポーラミュージアムアネックス（東京都中央区銀座 1-7-7）において、当財団関係者出席のもと第 17 回助成金贈呈式を開催し、理事長より助成対象者へ目録の贈呈を行った。引続き同ビル内において懇親会を開催した。

2) 美術館事業について

(1) 企画展

- ・平成 24 年 4 月 1 日～7 月 8 日
「印象派の行方 モネ、ルノワールと次世代の画家たち」展開催。
（会期：平成 24 年 1 月 21 日～7 月 8 日）
57,524 人が来館した。
- ・平成 24 年 7 月 14 日～10 月 2 日
「開館 10 周年記念 コレクター鈴木常司 美へのまなざし 第Ⅰ期 ピカソとポーラ美術館の絵画」展開催。
52,934 人が来館した。
- ・平成 24 年 10 月 5 日～平成 25 年 2 月 26 日
「開館 10 周年記念 コレクター鈴木常司 美へのまなざし 第Ⅱ期 モネとポーラ美術館の絵画」展開催。
77,643 人が来館した。
- ・平成 25 年 3 月 1 日～3 月 31 日
「開館 10 周年記念 コレクター鈴木常司 美へのまなざし 第Ⅲ期 杉山寧とポーラ美術館の絵画」展開催。
（会期：平成 25 年 3 月 1 日～7 月 7 日）
14,477 人が来館した。

(2) 美術館内（講堂、展示室、遊歩道）でのレクチャー（無料）

①企画展関連

- ・平成 24 年 4 月 7 日（土）講演会「印象派展以後の印象派—その軌跡と影響」
（参加 68 名） 講師 三浦篤（東京大学大学院教授）
- ・平成 24 年 4 月 21 日（土）「印象派の行方展 ギャラリートーク」
（参加 15 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 24 年 5 月 19 日（土）「印象派の行方展 ギャラリートーク」
（参加 22 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 24 年 6 月 16 日（土）講演会「次世代のみたルノワール
（参加 22 名） ボナールとマティスを中心に」
講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 24 年 6 月 30 日（土）「印象派の行方展 ギャラリートーク」
（参加 26 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 24 年 7 月 21 日（土）「コレクター鈴木常司展 ギャラリートーク
（参加 33 名） 鈴木常司 ピカソへの思い」
講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋
- ・平成 24 年 7 月 28 日（土）記念講演会「コレクター鈴木常司 美術館の夢」
（参加 23 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 荒屋鋪透
- ・平成 24 年 9 月 22 日（土）「コレクター鈴木常司展 ギャラリートーク
（参加 25 名） ポーラのイメージと女性像 ロダンとルノワール」
講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子
- ・平成 24 年 10 月 20 日（土）記念講演会「ポーラの建築：施主・鈴木常司と
（参加 34 名） 建築家・林昌二の幸福な関係」
講師 安田幸一（東京工業大学大学院教授）
- ・平成 24 年 11 月 28 日（水）「コレクター鈴木常司展 ギャラリートーク
（参加 35 名） 岡鹿之助《掘割》について」
講師 ポーラ美術館学芸員 内呂博之
- ・平成 24 年 12 月 15 日（土）「コレクター鈴木常司展 鈴木常司の集めたモネ」
（参加 29 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 25 年 1 月 13 日（日）「コレクター鈴木常司展 ギャラリートーク 駅伝」
（全 10 回 参加延べ 305 名） 講師 ポーラ美術館学芸員
- ・平成 25 年 2 月 9 日（土）「コレクター鈴木常司展 ギャラリートーク
（参加 17 名） 愛らしきコレクション-レオナルド・フジタと鹿児島寿蔵」
講師 ポーラ美術館学芸員 原唯
- ・平成 25 年 3 月 23 日（土）「コレクター鈴木常司展 ギャラリートーク
（参加 13 名） ユトリロ 風景の静寂」
講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明

②常設展関連

- ・平成 24 年 4 月 28 日（土）「コレクション・トーク 糸園和三郎の芸術」
（参加 12 名） 講師 ポーラ美術館学芸員 内呂博之
- ・平成 24 年 6 月 23 日（土）「コレクション・トーク 20 世紀絵画を見る」
（参加 11 名） ジョルジュ・ブラック」
講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋

③自然関連

- ・平成 24 年 5 月 26 日（土）「+Nature 自然に親しむプログラム」
（計 2 回 参加 23 名） 箱根の自然 知って、感じて、考えよう！」
講師 上妻信夫（箱根ビジターセンター・自然公園指導員）

(3) 美術館外での学芸活動（講演会等）

生涯学習普及活動の一環として、学芸員が他の美術館等において、講演会を行っている。

- ・平成 24 年 4 月 16 日（月）
東京日仏学院「20 世紀のモネとルノワール—次世代の画家たちとの対話」
講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 24 年 5 月 28 日（月）
東京日仏学院での特別授業「印象派をめぐる同時代評価」
—文学者による批評を中心に」
講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 24 年 5 月 31 日（木）
東京日仏学院での特別授業「印象派が歴史となるまで」
—その公的評価について」
講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 24 年 6 月 2 日（土）
花菜ガーデン「絵画の庭を歩く—モネの庭、ガレの花」
講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋
- ・平成 24 年 7 月 23 日（月） 日本化粧品技術者会（於：学士会館）
「美術における女性の表現—ポーラ美術館コレクションを中心に」
講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子
- ・平成 24 年 9 月 11 日（火）
ポーラミュージアムアネクストークイベント
「コレクター鈴木常司—美へのまなざし 展覧会ができるまで」
講師 ポーラ美術館学芸員 岩崎余帆子

- ・平成 24 年 10 月 23 日（火）
 ポーラミュージアムアネックストークイベント
 「あるコレクターの物語—鈴木常司の生涯とポーラ美術館」
 講師 ポーラ美術館学芸員 荒屋鋪透
- ・平成 24 年 11 月 3 日（土）
 ブリヂストン美術館土曜講座
 「ルノワール、作曲家ワーグナーを描く—パリの前衛と後期ルノワール」
 講師 ポーラ美術館学芸員 荒屋鋪透
- ・平成 24 年 12 月 13 日（火）
 ポーラミュージアムアネックストークイベント
 「モネ・コレクターとしての鈴木常司」
 講師 ポーラ美術館学芸員 島本英明
- ・平成 25 年 3 月 4 日（月）
 ポーラミュージアムアネックストークイベント
 「カンディンスキー《支え無し》から見えてくるもの
 —コレクションの失われた軌跡をたどる」
 講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋
- ・平成 25 年 3 月 13 日（水）
 座間市立北地区文化センター「美術館探訪講座—学芸員の仕事」
 （同月来館） 講師 ポーラ美術館学芸員 原唯

（4）授業の一環として美術館を利用する際の優遇措置

- ①小中学生が授業の一環として利用する際の入館料無料（引率教員を含む）
 平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月までの利用者数 900 名

- ・平成24年 4月24日（火） 大妻中野中学校（児童・教員 264名）
- ・平成24年 5月 5日（土） 湯河原中学校美術部（児童・教員 20名）
- ・平成24年 5月17日（木） 港区立白金小学校（児童・教員 7名）
- ・平成24年 5月26日（土） 函南中学校美術部（児童・教員 14名）
- ・平成24年 6月 6日（水） 港区立赤坂小学校移動教室（児童・教員 5名）
- ・平成24年 6月 7日（木） 港区立南山小学校（児童・教員 24名）
- ・平成24年 6月14日（木） 群馬県大江東中学校（児童・教員 4名）
- ・平成24年 6月30日（土） 白鷗中学校美術部（児童・教員 14名）
- ・平成24年 6月30日（土） 静岡市立城内中学校（児童・教員 19名）
- ・平成24年 7月25日（水） 鎌倉女子初等部（児童・教員 97名）
- ・平成24年 7月26日（木） 城北中学校美術部（児童・教員 8名）
- ・平成24年 7月30日（月） 浜松市日隈中学校（児童・教員 32名）
- ・平成24年 8月 7日（火） 箱根中学校（児童・教員 17名）
- ・平成24年 8月 7日（火） 山脇学園中学校、高等学校漫研アルカディア
 （児童・教員 23名）

- ・平成24年 8月 9日 (木) 小田原市立国府津中学校 (児童・教員 14名)
- ・平成24年 8月11日 (水) 中井町立中井中学校美術部 (児童・教員 10名)
- ・平成24年 8月24日 (金) 箱根中学校 (児童・教員 13名)
- ・平成24年 9月20日 (木) 港区立高輪台小学校 (児童・教員 6名)
- ・平成24年12月 1日 (土) 御殿場市立御殿場中学校 (児童・教員 39名)
- ・平成24年12月 1日 (土) 富士市立富士南中学校美術部1、2年生
(児童・教員 30名)
- ・平成24年12月19日 (水) 清泉女学園中学校 (児童・教員 188名)
- ・平成25年 3月12日 (火) 清水第三中学校 (児童・教員 52名)

②土曜日の小中学生無料 (地域に関係なく全国の小中学生を対象)

平成 24 年 4 月から平成 25 年 3 月までの利用者数 1174 名

(5) ワークショップ(参加学習)

① 子どものためのワークショップ

- ・平成 24 年 8 月 19 日 (土) 「夏休み子ども美術鑑賞会」

生徒 23 名、保護者 27 名参加。

生徒を少人数の 3 つのグループに分け、学芸員が引率して対話型のギャラリートークを行い、その後、親子対話型のワークを行った。

②学校授業の一環としてのワークショップ

- ・平成 24 年 7 月 23 日 (月) 「静岡理工科大学事前レクチャー」
学生 29 名、教員 1 名参加
美術館での鑑賞に向けて、学芸員がレクチャーを行った。
- ・平成24年 7月25日 (水) 「鎌倉女子大学初等部 鑑賞教室」
学生 88 名、教員 9 名参加
コレクター鈴木常司展の鑑賞、ワークシートの作成を行った。
- ・平成 24 年 8 月 6 日 (月) 「静岡理工科大学レクチャー」
学生 30 名、教員 1 名参加
学芸員によるピカソのレクチャー、コレクター鈴木常司展の鑑賞、
課題(ワークシート)作成及び発表を行った。
- ・平成 24 年 8 月 7 日 (火) 「町立箱根中学校 鑑賞教室①」
生徒 16 名、教員 1 名参加
コレクターに関するワークシートを作成し発表を行った。
- ・平成 24 年 8 月 24 日 (金) 「町立箱根中学校 鑑賞教室②」
生徒 14 名、教員 1 名参加
コレクターに関するワークシートを作成し発表を行った。
- ・平成 24 年 10 月 18 日 (木) 「富士宮市立白糸小学校鑑賞授業(出張)」
生徒 36 名、教員 3 名参加
人物画についてレクチャーを行った。
- ・平成 24 年 10 月 25 日 (木) 「函嶺白百合学園事前授業(出張)」

生徒 51 名、教員 3 名参加

モネの風景画についてレクチャーを行った。

- ・平成 24 年 10 月 26 日（金） 「函嶺白百合学園鑑賞授業」

生徒 51 名、教員 3 名参加

「私の住みたい部屋」に関するワークシートを作成し発表を行った。

- ・平成 24 年 11 月 5 日（月） 「富士宮市立北山小学校鑑賞授業（出張）」

生徒 92 名、教員 5 名参加

絵画の見方についてのレクチャーを行った。

（6） 美術館内サービス

①情報コーナー

館内情報コーナーに設置の 5 台のパソコンにて「収蔵品案内」を公開。約 1,100 点の作品の検索が可能。展示に沿った解説、作品の細部まで鑑賞できる高精細画像に加え、画家の制作の背景を紹介した動画が好評。小学校低学年でも操作可能なため、教育効果が高い。

②小中学生のための鑑賞ガイド

学芸部の教育普及担当と企画展担当者の連携により、小中学生向けの企画展鑑賞ガイドを製作、入館時に受付で配布している。コンパクトかつ要点をおさえた内容を心がけているが、需要も大きく、子ども向けの普及活動として一定の効果을あげている。

3) その他の事業について

当財団収蔵の美術品を他の展覧会に出展した。

（貸出作品については、ポーラ美術館ホームページ参照）